

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	KSきらり寝屋川校		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 15日		～ 2024年 12月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34	(回答者数) 27
○従業者評価実施期間	2024年 12月 15日		～ 2024年 12月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 1月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	すべての児童にたいしてほとんどの職員が支援を行うことができ、状況に応じて行動することができる。	支援内容を普段から話し合い、それぞれの児童への取り組みや進捗を共有している。	支援計画の更新や、保護者からの相談があった際などで都度ミーティングを行い、情報の共有を行っている。
2	個別での支援で保護者や児童に寄り添った取り組みができおり、信頼に繋がっている。	振り返りの時間を大切に、普段のご家庭での様子や学校での様子などもヒアリングし、繋がりのある支援を行っている。	保護者にはこちらから積極的にアプローチし、相談しやすい関係を築いていく。
3	幅の広い支援プログラムを提供することができる。	それぞれの児童に対して複数の職員でアプローチを考え、多角的に取り組むことを意識している。	支援内容を充実させるために支援のツールや特性理解の研修に参加する機会を設け、質や内容の向上を図っていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ペアレントトレーニングや保護者同士の関わりを持つ機会の提供。	管理者変更に伴い、段取りや保護者との関係性構築が間に合っていないかった。	定期的に保護者会などを実施し、繋がりの強い関係性を構築していく。
2	安全管理に関する取り組みの周知。	避難訓練や安全点検などの実施状況を上手く見える化ができていなかった。	SNSやHPのブログなどを上手く活用し、事業所の活動を周知していく。
3	地域資源の活用。	地域資源に対する理解が乏しく、上手く活用ができていない。	市役所や相談支援事業所、他事業所などと積極的に連絡を取り合い、地域資源についての情報を得ていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 KS榎屋川校

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数 34

回収数 27

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	22	3		2	少し狭い部屋もある。	ご利用者に応じた部屋割りや、支援室には無駄なものを置かないなど工夫いたします。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	22	3		2		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19	1		7		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	25	1		1	とても清潔です。	ありがとうございます。今後もそういつていただける様に努めます。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	25	1		1	先生方の会話を聞いてみると、よく考えられていると感じました。	ありがとうございます。特性理解や療育の方法などについては今後も研修の機会などを設け、学び続けていきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18	1		7		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	25	2				
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	21	3		3		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	25	1		1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	21	3	1	2	保護者の要望を聞いていただけます。	ありがとうございます。今後も気軽に相談いただける信頼関係を築いていけるように努めます。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2	2	11	11		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	26	1				
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	24	1		2		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	4	3	10		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	24	3			毎回状況を聞いていただけます。	ありがとうございます。ご家庭での状況なども含めて支援できればと思います。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21	3		3		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	26			1		
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	3	8	10			

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18	1	1	7		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	22	3		2		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	13	2	2	9		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	21	1		5		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11	1	2	12		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6	2	2	17		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13	1	2	11		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16	2		9	今まで怪我等が無かったので不明です。	ありがとうございます。大きな事故はありませんが、ヒヤリハットはいくつか出ておりますので、事故などが起こらない環境作りを行っています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	27					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	25	2			3時間前から準備しています。勉強の後の遊びが楽しいと集中して学習に取り組んでいます。	ありがとうございます。今後も楽しく通っていただける事業所を目指します。
	29	事業所の支援に満足していますか。	26	1			子どもが唯一勉強を楽しめる場です。先生が素晴らしいです。	ありがとうございます。学ぶ楽しさを感じられる場所であり続けられる様に努めます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	KS寝屋川校		公表日		2025年 2月 15日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		個別支援が基本となっているので、利用者様に合わせてスペースを確保している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。		○	利用者様おひとりに対し職員1名が対応している。状況に合わせて職員複数名が対応することもある。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		お子さまに合わせて構造化している。教室内は段差がなくバリアフリー化されている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		定期的に清掃を行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		基本的にお子さま一人につき個室またはパーティションで区切って活動している。	安静室の設置が必要。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		職員間で共有している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者様からの意向を確認し、業務改善へとつなげられるように努めている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		ミーティングなどで共有し、業務改善につなげている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	運営指導を受け、業務改善につなげている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		定期的に研修を受ける機会が設けられている。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援後の振り返り時に、支援プログラムについて説明している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		アセスメントに基づいて支援計画の作成を行っている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		児発管、指導員で検討し、計画を作成している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		お子さまに合わせて確認している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			学校との連携はあまり取れていない。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		職員間で共有し立案するようにしている。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		お子さまに合わせて興味関心のある題材を活用したり、スモールステップで課題に取り組めるようにしたりなどの工夫をしている。		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		月1回のペースで小集団活動の機会を設け、必要に応じて組み合わせるようにしている。		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。		○		情報共有の必要性がある時のみ行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		○		情報共有の必要性がある時のみ行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			正確に記録を取るよう努めている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			半年に一回以上モニタリングを行い、見直しなどを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○				
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○			お子さまの気持ちや意思を尊重しながら支援を行っている。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			お子さまの担当指導員が参画するようにしている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○				
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。		○		必要に応じて情報共有をし、連絡調整を行っている。	学校の月間予定表などが把握できていない。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○				現段階では連携できていない。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			情報を提供している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○			現段階では研修を受ける機会を設けられていない。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○			現段階では交流する機会を設けられていない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○			参加する機会がなかったため、今後あれば参加したい。 中学生以上の利用者さんに関しての情報が少ない。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○				支援後に振り返りの時間を設けており、様子や状況について共有している。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○			教室で開催される機会を設けられなかったため、検討したい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○				契約時や支援計画の更新時に説明している。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○				保護者様の意向を確認しながら作成している。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○				

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			毎支援の振り返り以外にも必要に応じて面談の機会を設けている。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○		数年前に開催して以来、父母の会などを開いていないため、ニーズに応じて開催していきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			教室の掲示板やInstagramで情報を発信している。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			お子さまに合わせて対応している。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		地域の方との交流の機会がなかったので、今後検討したい。 地域住民は招待できていない。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			職員間で共有しているが、ご家族の方には周知できていない。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			教室内で定期的に非常時の対応について共有している。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			アセスメントシートに記載、服薬に変更
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			基本的に食べ物は定協しないが、アレルギーについて対応できるようにしている。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○				